

1. たんぽぽ

授業でタンポポの話をするのは、BとCを沢山考えることができ、しかも、しっかりとした結論がでないことにあります。皆さんもいろいろと考えてみてください！新たなB:

2xクワートでクワートのあの狭いすまみからどうやん深養をたねをいれし種をいれしいるのか疑問

タンポポは、都会というのが自身で分かっているのかという点を知り

たいと考えました。

セイヨウタンポポは一年中花を咲かせるので、種子を一年中飛ばすことができ

セイヨウタンポポの話題いでもおぼろげに A, B, Cが出報のに私達が普段お判それと意

識しないのも、大人になるにつれて赤ん坊の頃のお母 無意識の知的探究心が受け

てきてはっている証なのだろうか……。

皆さんも、タンポポに目を向けてみてください！

私の家に咲くタンポポの写真を以前撮映しては、確認

してみてもいいか、夕方に在来種タンポポと見いまる。

2. 見た目と偏見

この話題にはいくつかモノコメントがありました。まず私たちは偏見を持ちやすいことを覚えておきましょう。だからLAが必要です。

授業との関係はいいと言っているが、どういふリストにて、おぼ
ろの固定概念は形成されしやと思ひ。

固定観念について先生と違え方があります。「相由心生」という四字熟語がおぼ

意味は人間の顔付けは心で変わるということ。顔が揃っている人は性格揃っていると思

います。 まず、孔子は、大人になったら自分の顔に責任を持たなければならない、と言ったそうです。

と、記憶があって調べると、どうやら、それはリンカーンのことのようにでした。逆に、孔子は、
見た目で判断して失敗したようです。また、ソクラテスは顔が醜かったようです。いろいろな議論がありますが、例えば、よく笑う人は、笑顔が似合う顔になるでしょう。だから、顔に出るのはある程度あると思います。逆に、世界の様々な問題に頭を悩ませている人は、しかめっ面になってしまうかもしれません。そして、一般論には例外もあることを忘れてはなりません。

そういう偏見は、最近は少な

僕のア=xが大好きだが、世間一般のア=x好き = 気持ち悪い) 何かとある

いのではないのでしょうか。ただ、
児童ポルノまがいのアニメが多いのも困ったものです。

この偏見が未だにあると思ひ可。

セイヨウタンポポは諸国に生息する所は自明の理で全然

そもそも、たとえ方、見かたが変ではないか、

違ふと考へる。例えア=x、ア=xと思ひんが座、こい、道、

という指摘です。ものごと、別の角度から見る

とア=xの座、こい、道、こい、道、こい、道、

と、別のように解釈することも可能です。

ところで、以前見たテレビ番組で、いわゆるヤンキーを特集していました。あるヤンキーが「特攻服着てるからといって、偏見で見ないで欲しい」と言ったところ、別のヤンキーが「バカいってんじゃねーよ。俺たちは、そういう風に見られたいから特攻服着てるじゃねーか。」皆さんはどう考えますか？

※ 29日締切りの課題があります！ E-Campus の指示に従ってください！

3. ペットボトルマジック

興味を持ってもらってよかったです！これからマジックを見るときも、ABCで考えてみましょう。

マジックは全く分らないと純粋に驚きました。マジックの妙を考へていうのもABCで自然とやっています

人おなというこも改めて認識ですね。よく観察すること大切。それに疑問を見つけた。

ストーリーの話と同じ状況だったこと言われ納得できました。

これを超能力だと思ひ込んでおいたのは授業だったので悪用が
ついでに、先生は何が買われるかおしなない。

残念ながら、世の中には詐欺が多いです。皆さんも気をつけてください！

ペットボトルを使ったマジックにおいて、先生がいなくなると時、
多くの人意見と述べ議論していた。しかし、実際に先生が
「仮説はあるか」と質問した時、誰もすすんで発表しようとはしなかった。
このことから、先週のリアクションペーパーにあった、「大人は失敗を
恐れて学ばなくなる」ということが正しいのではないかと考えた。

そうだったのですね！もっと突っ込んで聞けばよかったですと思いました。皆さんもお互いに意見交換をする習慣を身につけてもらいたいです。他の人の考えは様々で、発見がとても多いですよ。

4. 科学のABC

仮説、検証の立ちのちに十分に学ぶことができた。
課題に対し実のある結果を望める。多岐する。

授業回数が増えてきて、皆さんにも科学のABCの考え方が身につけてきたようです！ぜひ、課題でその成果を発揮してください！

せがくこの授業をとったからには、自分で検証し、結果をみろびき
出すところまで一回ぐらいはやしてみたい。

科学のABCの考え方が身につけてきたようです！ぜひ、課題でその成果を発揮してください！

一見簡単に答えが出せそうな疑問でも、「本当にどうなの？」という気持ちで

検証していくことは、自分自身にとって新しい発見や知識を確かめるものにするために必要ですね。

仮説が支持されても、新たな検証を試さなければいけないことは、気を
つけておきたい点です。

仮説(B)を検証(C)するとき、必ずしも、仮説が支持されなくてもいいです。また、あらたな仮説を考えればいからです。逆に仮説が指示されたとしても、安心しないで、(C)をくり返しましょう。ということです。気楽に考えていいし、でも、其れで安心してもいけません、というやや難しい注文です。

科学のABCについて存のてすが、私はCを考へるのにか、昔々で検証が
考へついてもそれが本当に正しいものか自信が持てず、今日の授
業でのCは何通りでもあるということか説明されていながら、
過去の失敗についての話を聞いてとり合えずは考へがついたと試行して再びチャレンジして、
失敗してもそこから新しい考へを生ま出し、科学的なかんはつたいです。

何度もくり返した結果、Bが確かめられたと思ったら、それは法則と言っていいでしょう、ということです。

検証の順序で仮説が支持されなかったら、新たな仮説
になり、Bが正しくなるのは、疑問に思いました。

ガリレオガリレは地動説を唱えた際に裁判にかけられたが、
地球は中心にあり、太陽が周りを回っているという固定観念に縛られたというお金の
ステレオタイプの思想が多かったにせよ、実証科学における疑問→仮説→検証を
くり返していきながら、ガリレオは裁判にかけられて「でも地球は動かし、
のだから感じました。

科学の考え方が、個人の生き方にも反映されるべきではないか、というお話をしました。ガリレオは、それを体現した一人ですね。